



スーパークールオイルクーラーキット 取扱説明書

商品番号	: 09 - 07 - 2132
適応車種	: XR50R、CRF50F (ダイカストクラッチカバー装着車)
フレーム番号	XR50R : AE03-1000001 ~ CRF50F : AE03-1300001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両で当社製ダイカストクラッチカバー装着専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
XR50R及びCRF50Fは競技専用車ですので道路運送車両法や道路交通法に適合致しません。従って、一般道路での走行は出来ませんのでご注意ください。

注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

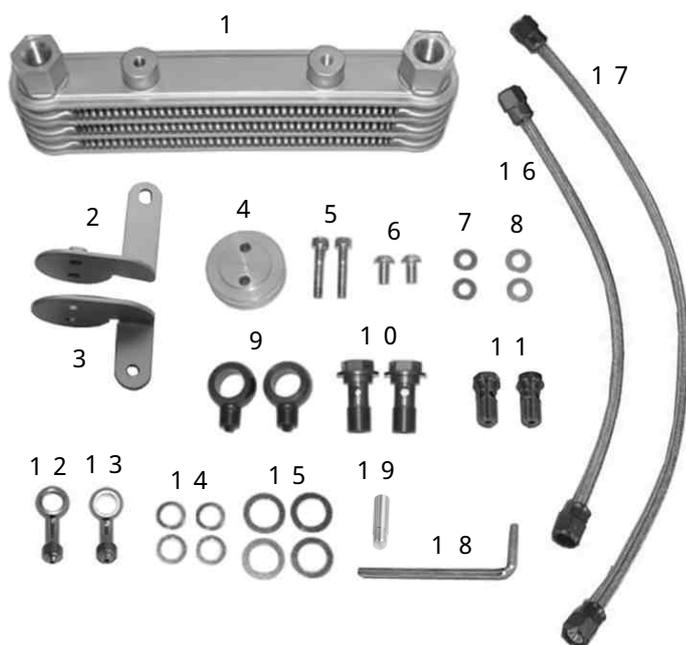
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ・走行前はガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- ・オイル（潤滑剤）が関係する作業ですので、エンジン始動前には必ずオイル量を点検して下さい。足りない場合はオイルを補充して下さい。

警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商品内容～



番号	部品名	個数
1	オイルクーラー	1
2	オイルクーラーステー-L	1
3	オイルクーラーステー-R	1
4	オイルクーラーステーカラー	1
5	ソケットキャップスクリュー 5×25	2
6	ボタンヘッドソケットキャップスクリュー 6×10	2
7	ブレンワッシャ 5mm	2
8	ブレンワッシャ 6mm	2
9	オイルクーラーパンジョー M10	2
10	パンジョーボルト M12	2
11	パンジョーボルト M10	2
12	パンジョー M10 (45°)	1
13	パンジョー M10 (25°)	1
14	シーリングワッシャ 10mm	4
15	シーリングワッシャ 14mm	4
16	オイルホース 285mm	1
17	オイルホース 380mm	1
18	六角棒レンチ 4mm	1
19	オイルホールプラグ	1

— オイルクーラーキット使用上のご注意 —

クラッチカバーにオイルホースを接続した場合、必ず付属のオイルホールプラグ又は、別売のサーモユニット(02-01-5002)を取り付けて下さい。

何れも取り付けが無かった場合、オイルクーラーにエンジンオイルが循環しませんのでご注意下さい。

～取り付け要領～

1. セット内容を確認します。
2. 作業に適した工具を用意します。
3. メインスイッチのコネクターを外します。



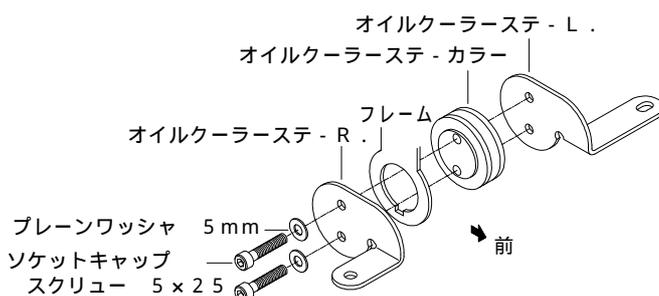
メインスイッチ
コネクター

4. メインスイッチ突起部を押してステーからメインスイッチを取り外します。



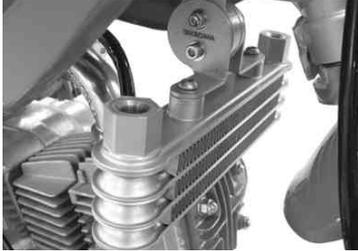
メインスイッチを取り外してもエンジンの始動は可能です。
エンジン停止はハンドルのエンジンストップスイッチで行います。

5. メインスイッチの取り付けステーにキット内のオイルクーラーステー-L、R、オイルクーラーステーカラーをソケットキャップスクリュー5×25、ブレンワッシャ5mmを使用して取り付け、仮締めします。



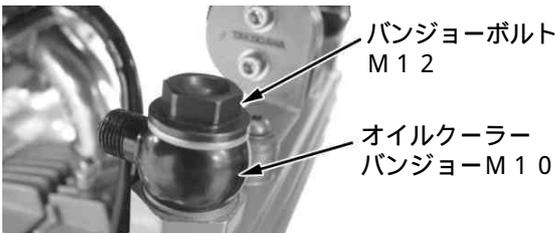
6. オイルクーラーをキット内のボタンヘッドスクリュー 6 × 10 とブレンワッシャ 6 mm を使用してオイルクーラーステーに取り付けます。オイルクーラーの角度を調整して、各ボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：ソケットキャップスクリュー 5 × 25 mm
 $5 \text{ N} \cdot \text{m} (0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$
 ボタンヘッドスクリュー 6 × 10 mm
 $10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



オイルクーラー部分が前から見て水平で、横から見て垂直になっていることを確認します。歪んでいる場合は、オイルクーラーを持ってゆっくりと修正して下さい。

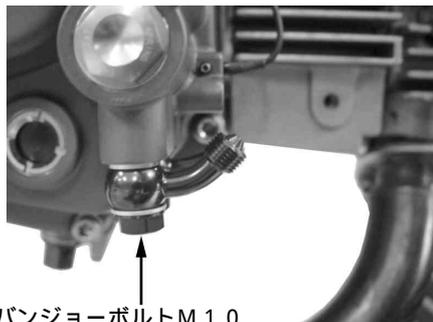
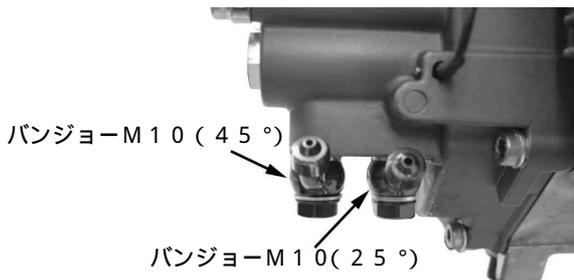
7. バンジョーボルトにシーリングワッシャ 1.4 mm、オイルクーラーバンジョー M10、シーリングワッシャ 1.4 mm の順で通し、オイルクーラー側のシーリングワッシャがオイルクーラーヘッダー（6角部分）の凹部からずれないように取り付けして仮締めします。シーリングワッシャがずれた状態でバンジョーボルトを締め付けた場合、オイル漏れの原因になります。



8. クラッチカバー下にオイル受け皿を設け、オイルプラグボルト 2 本を取り外します。

ボルトを取り外した際、オイルフィルター内のオイルが漏れ出す可能性があります。（オイル受け皿を設ける事をお勧めします。）

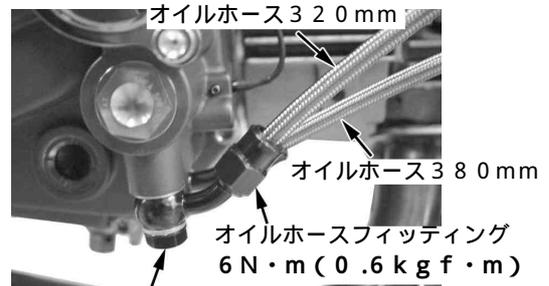
9. バンジョー M10（45°）及び M10（25°）をシーリングワッシャ 10 mm 2 枚で挟み、クラッチカバーに仮締めします。（この際にバンジョーの曲がった先が上向きになる様取り付けして下さい）



バンジョーボルト M10
 $T = 14 \text{ N} \cdot \text{m} (1.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

10. オイルホース 285 mm を乗車状態から見て右側のクラッチカバー側のバンジョー M10（45°）に取り付け、左側のバンジョー M10（45°）に 380 mm オイルホースを取り付け、オイルホースフィッティングを締め付けます。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。
 $T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

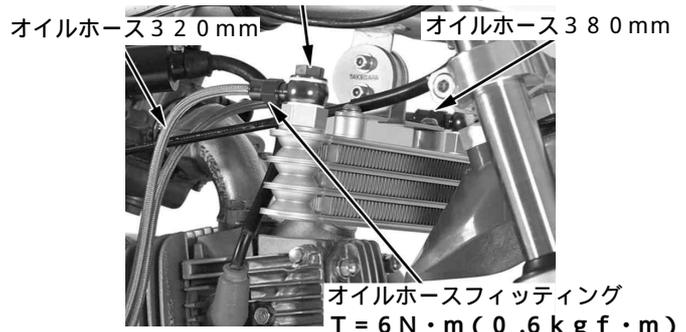


バンジョーボルト M10
 $T = 14 \text{ N} \cdot \text{m} (1.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

11. クラッチカバーに取り付けたオイルホースをフレームや他の部分に干渉しない部分で取り回しを行いながら、オイルクーラーバンジョー M10 に取り付けます。オイルホース 320 mm を乗車状態から見てオイルクーラーの右側に取り付け、左側に 380 mm を取り付け、オイルホースフィッティングを締め付けます。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。
 $T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

バンジョーボルト M12
 $T = 22.5 \text{ N} \cdot \text{m} (2.3 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



12. それぞれのバンジョーの向きを調節し、バンジョーボルト M10 とバンジョーボルト M12 を締め付けます。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

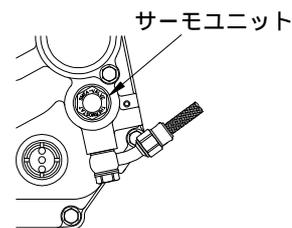
バンジョーボルト M12
 $T = 22.5 \text{ N} \cdot \text{m} (2.3 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

バンジョーボルト M10
 $T = 14 \text{ N} \cdot \text{m} (1.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

バンジョーボルト M12 の締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずズパナ等を掛けた状態で行って下さい。

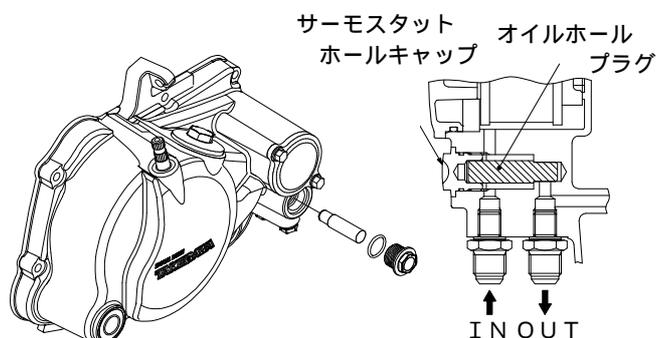
13. (サーモユニットを取り付ける場合)

ホールキャップを取り外し、サーモユニットを取り付けます。サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。



(サーモユニットを取り付けない場合)

- ・サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
- ・サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを指定トルクで締め付けます。
トルク $13 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.3 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



14. エンジンオイルを80cc追加し、各部の締め忘れが無いことを確認した後、エンジンを掛け、各部よりオイル漏れ等の有無を確認して下さい。エンジンを止め、約1分後にオイルポットウインドでオイル量が基準範囲内にある事を確認し、少ない場合は補充して下さい。

エンジン始動後は、オイルクーラーやシリンダー等が高温になりますので十分注意して下さい。

⚠ 注意：クラッチカバーからクーラーホースを外し、プラグボルトを取り付けた場合は、(購入時の状態)必ずオイルホールプラグ若しくはサーモユニットを取り外して下さい。
何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>